

2.2.5 研究分野：環境デザイン学

構成員：	教授	森本 幸裕
	准教授	深町 加津枝
	助教	今西 純一
	大学院博士後期課程	5 名
	大学院修士課程	7 名
	専攻 4 回生	4 名

A. 研究活動（2009.4～2010.3）

A-1. 研究概要

a) 公園・緑地などの造園空間や地域づくりの原論・歴史的研究

特に近代造園デザイン史や近代公園の成立に関する研究を継続的に行っている。近代造園デザインでは米国近代のランドスケープ・デザインに関する研究が一つのテーマになっている。近代公園・緑地史に関する研究では経済・政治等の社会的背景から公園・緑地あるいは地域の成立の意義を明らかにすることを目的とし、今後の公園・緑地あるいは地域づくりの方向を考察する。

b) 自然環境の回復・緑化および緑地の保全と活用に関する生物保全学的研究

都市林や近郊二次林の保全と活用をめざし森林環境保全や生物生息環境保全の視点から調査、実験を通じて自然環境回復技術や緑化技術的研究を進めている。このほか環境林の事例を調査し、多様な条件下での樹林形成の過程を解析し緑化技術に関する基礎資料を蓄積しつつある。これらの研究では生理、生態学的、景観生態学的方法が援用される。

c) 都市及び都市近郊地域の景観保全と地域空間整備に関する緑地計画的な研究

都市や都市近郊農村における広場、公園、緑地などのオープンスペースづくり、あるいは地域づくりの市民参加による計画・デザインの有効性に関する研究を行っている。

d) 緑地、オープンスペースの計画・デザインの実践と実習

実際の緑地の計画・デザインのプロジェクトに参加し、実践している。公園・緑地や史跡公園の計画、各種の競技設計への参加などである。大学院、学部生にはデザイン実習を行う。

A-2. 研究業績（国内・国外含む）

a) 成果刊行

著 書

・森本幸裕・竹内敬二『森林環境 2010 生物多様性 COP10 へ』、216pp.、森林文化協会、東京、2010.2

・Takemura S, Kamada M, Morimoto Y. ‘Identification of Topographical and Climatic Factors Determining Suitability of Mangrove Habitat in India as a Basis for Restoration Planning’, In Shaw R, Krishnamurthy RR Eds. ”Communities and coastal zone management”, Research Publishing Services, Singapore, 2009

・今西純一、「森林療法」、今西二郎編、『医療従事者のための補完・代替医療 改訂 2 版』、金芳堂：京都、2009.5、465pp. （担当ページ：349-355、計 6 ページ）

原著論文（査読付）

・Imanishi, J., Nakayama, A., Suzuki, Y., Imanishi, A., Ueda, N., Morimoto, Y. and Yoneda, M. ‘Nondestructive determination of leaf chlorophyll content in two flowering cherries using reflectance and absorptance spectra’. Landscape and Ecological Engineering, 6(2), 219-234. 2010.1

・Ioki, K., Imanishi, J., Sasaki, T., Morimoto, Y. and Kitada, K. ‘Estimating stand volume in broad-leaved forest using discrete-return LiDAR: plot-based approach’. Landscape and Ecological Engineering, 6(1), 29-36. 2009.7

・飯田義彦、今西純一、大石善隆、森本幸裕、「ウマスギゴケ群落の水分動態観測に基づくコケ庭の微気候保全に関する考察」、『ランドスケープ研究』73(5)：407-412、2010.3

・岩佐匡展、深町加津枝、奥敬一、福井亘、堀内美緒、三好岩生、大都市近郊に位置する京都府木津川市鹿背山地区における 1880 年代以降の里山景観の変遷農村計画学会誌 28：321-326、2009

・奥 敬一・深町加津枝・三好岩生・堀内美緒、大井川中流域の茶園卓越景観における日中の来訪者による景観認識比較、ランドスケープ研究 72(5)、pp.657-660、2009

・村上健太郎・上久保文貴・泉本法子・森本幸裕. 「都市域の孤立神社林における木本種の多様性保全のための焦点生物種選定手法の適用」『景観生態学』14(1)：41-51. 2009.

・早瀬真弓、今西純一、中村彰宏、戸田健太郎、森本幸裕、「地上型レーザースキャナを用いた庭園の借景復元に関する景観シミュレーション」、『ランドスケープ研究（オンライン論文集）』2：62-66、2009.7

・深町加津枝、大岸万里子、奥敬一、三好岩生、堀内美緒、柴田昌三、丹後半島山間部の棚田景観の変遷と棚田の残存要因に関する研究、農村計画学会誌 28 : 315-320、2009

・細垣彩加、橋本啓史、小見山章、今西純一、森本幸裕、「農村地域における神社林の鳥類相と環境条件の関係」、『日本緑化工学会誌』35(4) ; 523-531、2010.3

・堀内美緒・深町 加津枝・奥 敬一・岡田加奈子、滋賀県西部の農村集落における昭和前期の子どもの遊びを通じた自然資源と空間の利用、ランドスケープ研究 72(5)、pp. 673-678、2009

報告書等

・Imanishi, A., Morimoto, J., Imanishi, J., Shibata, S., Nakanishi, A., Osawa, N., Sakai, S. 'Sprout initiation and growth for three years after cutting in an abandoned secondary forest in Kyoto, Japan'. Landscape and Ecological Engineering 6(2), 325-333. 2009.9

・森本幸裕・橋本啓史・今西亜友美・村上健太郎・田端敬三・大石善隆、「都市の生物多様性：フィールド研究の現在」『ビオ・シティ』No.43、112-115、2009

・森本幸裕「生物多様性と自然再生」『京都大学環境報告書 2009』46 ページ、2009

・今西純一、奥川裕子、飯田義彦、金 鉉埈、森本幸裕、山中勝次、小島玉雄、「ヤマザクラの根系分布と樹木活力度および土壌硬度の関係」、『日本緑化工学会誌』35(1) ; 182-185、2009.7

・今西純一、中右麻衣子、今西亜友美、今西二郎、渡邊映理、木村真理、森本幸裕、「森林療法、園芸療法、ヨガを組み合わせた健康増進プログラムの高齢者への効果」、『日本緑化工学会誌』35(2) ; 363-369、2009.9

・中右麻衣子、今西純一、「がん患者の療法の場としての都市緑地の活用」、『日本緑化工学会誌』35(2) ; 301-303、2009.11

特許

・出願 特願 2009-185818

「植物の葉のクロロフィル濃度測定装置及び測定方法」

発明者： 今西純一

特許出願人： 国立大学法人京都大学

出願受領日： 平成 21 年 8 月 10 日

b) 学会発表

・土木学会（1 回）

・日本森林学会大会（2 回）

- ・第 53 回日本菌学会大会（1 回）
- ・地理空間情報フォーラム 2009 学生フォーラム（1 回）
- ・第 19 回日本景観生態学会大会（2 回）
- ・第 40 回日本緑化工学会大会（2 回）
- ・平成 21 年度日本造園学会関西支部大会（1 回）
- ・第 13 回日本統合医療学会（1 回）
- ・10th International Congress of Ecology（2 回）
- ・15th international symposium on problems of landscape ecological research conference（2 回）
- ・COTTBUS Japanese-German Symposium（1 回）
- ・IUFRO Division 4（2 回）

A-3. 国内における学会活動など

所属学会等（役割）

- ・森本 幸裕：日本造園学会（代議員）、日本緑化工学会（監事）、日本景観生態学会（会長）、環境情報科学センター（評議員）、自然環境復元学会（理事）
- ・深町 加津枝：造園学会（理事、国際交流委員会）、緑化工学会（理事）、森林学会（評議委員、日林誌編集委員）、景観生態学会（運営委員、編集委員）
- ・今西 純一：日本造園学会（学術委員、関西支部 幹事、関西支部 事務局）、日本景観生態学会（専門幹事）、日本緑化工学会（編集委員、評議員、緑・健康研究部会 幹事）

学術会議関連（役割）

- ・森本 幸裕：日本学術会議連携会員（環境学）

競争的資金等獲得状況

①科学研究費補助金

- ・基盤研究(A)(1)：森本 幸裕：階層的な自然再生のランドデザインに関する研究
- ・基盤研究（A）：中村 太士：再生すべき生態系の抽出、工法ならびに科学的評価に関する学際的研究
- ・基盤研究（A）：夏原 由博：比較景観生態学手法にもとづく里山の評価システムの開発

②その他の競争的資金

- ・受託研究：森本 幸裕：自然文化園自立した森づくり調査
- ・平成 21 年度クリタ水・環境科学振興財団国内研究助成（萌芽的研究）：今西 純

一：琵琶湖における失われた植生の復元材料としての埋土種子の分布パターンとその分布を規定する要因

A-4. 国際交流・海外活動

所属学会等（役割）

- ・ 森本幸裕：International Consortium for Landscape and Ecological Engineering (Vice president)、International Federation of Landscape Architects - Japan (Board Member)

国際会議・研究集会等（国、役割）

- ・ 森本 幸裕：国際会議 URBI02010 実行委員会（委員長）
- ・ 深町 加津枝：国際会議 URBI02010 実行委員会（委員）
- ・ 今西 純一：国際会議 URBI02010 実行委員会（学術部会長）

外国人研究者の受入

- ・ 研究生 2 名 （中国）
- ・ 博士課程（両任先） 1 名 （韓国）
- ・ 博士課程（両任先） 1 名 （マレーシア）
- ・ 研究生（両任先） 1 名 （マレーシア）
- ・ 研究生（両任先） 1 名 （ブラジル）
- ・ 研究生（両任先） 1 名 （台湾）

B. 教育活動（2009.4～2010.3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

- ・ 全学共通科目： 環境科学基礎ゼミナール（森本）、森林基礎科学B（森本）、地球環境学のすすめ（深町）、環境農学論（深町）
- ・ 学部： 造園学 I（森本）、造園学 II（森本）、緑地植物学（今西、森本）、環境デザイン学演習（森本、深町、今西）、環境デザイン学実験（森本、深町、今西）、森林科学IV（森本）、造園学実習 I（今西、森本）、造園学実習 II（今西、森本）、森林総合実習及び実習法（今西）、森林科学実習 IV（今西）、コンピュータ利用と森林科学（今西）
- ・ 大学院： 緑地環境デザイン学特論（森本）、環境デザイン学専攻演習（森

本、深町、今西)、環境デザイン学専攻実験(森本、深町、今西)

B-2. 学外における教育活動

学外非常勤講師

- ・森本 幸裕：京都府立大学農学部（造園学及び森林風致論）
- ・今西 純一：京都精華大学（ランドスケープデザイン）

公開講座等

- ・森本 幸裕：「日本の森を守る京都サミット」分科会「次世代へ引き継ぐ緑化活動」コーディネータ、主催：日本の森を守る地方銀行有志の会、国立京都国際会館、京都、2009年12月4日
- ・森本 幸裕：「にほんの里から世界の里へ」シンポジウム・パネラー、主催：総合地球環境学研究所、金沢大学、国連大学高等研究所、森林文化協会、2010年2月6日、石川県音楽堂邦楽ホール
- ・森本 幸裕：「桜のある風景」ゴールデンエイジアカデミー、講演、京都市生涯学習総合センター、京都、2010年3月10日
- ・森本 幸裕：「〃にほんの里100選〃からみる里の魅力」招待講演、主催：牧畑を後世に伝える会、共催：西ノ島町商工会、後援：西ノ島町教育委員会、2009年10月3日
- ・森本 幸裕：“Landscape Ecology and Planning in Japan”, Invited Lecture, Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology, Nairobi, Kenya. 2010年3月8日
- ・森本 幸裕：「生態系と環境保全措置」環境影響評価講習会講師、環境省主催、メルパルク大阪、大阪、2009年12月8日
- ・今西 純一：「総合学習（最先端の研究紹介）」、柳学園中学・高等学校、2010年2月23日（講師）

C. その他

- ・森本 幸裕：中央環境審議会（臨時委員（自然環境）、環境省環境研究・技術推進戦略専門委員会委員）、文部科学省教科書用図書検定調査審議会（臨時委員）、文化庁文化審議会（専門委員（文化財分科会））、京都市美観風致審議会（委員）、京都市美観風致相談員、神戸市公園緑地審議会（委員）、京都市都市緑化推進協議会（会長）、国土交通省淀川本川保全利用委員会（委員長）、（社）京都モデルフォレスト協会（理事）、（財）京都市都市緑化協会（理事）、NPO グリーンエンバロンメント（理事）、NPO 法人自然環境復元協会（理事）、京都伝統文化の森推進協議会（副会長）、（財）都市緑化技術開発機構（研究顧問）、京都ビオトープ研究会、いのち

の森モニタリンググループ

・深町 加津枝：京都市美観風致審議会、京都市環境影響評価審査会（委員）、京都市都市計画審議会、京丹後市環境基本計画策定委員会、京都府環境審議会、京都府景観審議会、京都府森林審議会、京都府特定計画（ツキノワグマ）検討委員会、天橋立世界遺産登録可能性検討委員会、京都府「環」の公共事業検討会、京都府公共事業評価審査委員会」、滋賀県環境審議会、滋賀県ふるさと・水と土保全対策委員会、大津流域森林づくり委員会、史跡紫香楽宮跡保存管理計画策定委員会、兵庫県野生動物保護管理運営協議会、京都府農林水産技術センター評議委員会、京都府府民公募型公共事業審査委員会、嵐山国有林の取扱に関する意見交換会、保護林モニタリング調査評価委員会（林野庁）、里山ネットワーク世屋（理事）、比良の里人（理事）、上宮津21 夢会議、田上邸保存会、フィールドソサエティー、やぶこぎ探検隊、びわこ自然環境ネットワーク